



旧職員宿舎を改装した  
愛知教育大の国際教育  
棟＝刈谷市井ヶ谷町で

## 愛教大国際教育棟 日本語学ふ拠点に 旧職員宿舎改装

愛知教育大（刈谷市井ヶ谷町）の旧職員宿舎を改装した同大の国際教育棟が完成し、二十八日に記念式典があった。

鉄筋コンクリート五階建ての旧職員宿舎は築四十二年と老朽化しており、計四億五千万円を投じて耐震補

強や改装をした。一―三階は研修施設で、地元の外国人小中学生向け日本語教室や、小中学校で外国人

対応に当たる教員向けの研修などを行えるようにした。

四、五階は日本人と外国人が共同生活をしながら異文化交流をする学生寮として十六部屋を用意した。四月から台湾やマレーシアなど六カ国・地域の留学生が

入居予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部留学生の入居が遅れ

るといふ。

一階テラスであった式典で、後藤ひとみ学長は「日本語教育の拠点として活用し、県内外に発信していきたい」とあいさつ。大村秀章知事や同大が連携する刈谷、豊明の両市長と並んでテープカットした。